

(仮訳)

サハリン商工会議所

2007年3月6日付第64号

在ユジノサハリンスク日本総領事
夏井重雄様

尊敬する夏井重雄様

新たな指導部によるサハリン商工会議所は、貴殿に心からの敬意を表し、サハリン州と北海道、ロシアと日本による貿易経済関係及び対外経済関係の発展に基づき活発に協力を行っていきたいという当方の願いを貴殿に示します。

ロシア連邦商工会議所規則に従い、サハリン商工会議所は、非国家組織、非営利組織であり、サハリン州経済の発展、その世界経済システムへの統合、近代的産業・金融・貿易インフラの整備、企業活動にとって快適な環境の創設、企業と企業の社会パートナーとの関係の調整、そして、ロシア連邦サハリン州企業と外国企業との貿易経済関係及び科学技術関係、あらゆる種類の企業活動の全面的な発展への協力、さらに財産・属性・所在地に関わりない、サハリン商工会議所メンバー、企業家及び合同組織の合意、利益の代表を目的として、設立されました。

我々両国間の対外経済関係は、近年において状況を著しく改善しており、新たな質的段階に突入しました。これは、最近のミハイル・フラトコフ・ロシア連邦首相の訪日によっても裏付けられており、その際には我々両国間の協力の将来的展望について話し合いが行われました。

サハリン商工会議所は、サハリン州と日本の企業家間の互恵的な協力関係に関心を抱いており、以下の施設の建設工事のテNDERに今後参加する目的で露日合弁建設企業を設立しようという、サハリン商工会議所の活動メンバーである建設企業(有限責任会社・商業会社)「グレナダ」による提案・情報を日本の商工会議所に転達して頂く様に貴殿に要請致します。

1. サハリン州における埠頭コンプレックスの建設
2. サハリン島と大陸部を結びつける2層トンネルの建設

サハリン商工会議所は、我々の商工会議所の協力作業にとって良い前例になりうる、合弁企業設立のための有望な日本の建設パートナー企業の選抜・推薦に際しての日本の商工会議所の協力を感謝を致します。

建設企業(有限責任会社・商業会社)「グレナダ」に関する情報は添付されております。

敬具

(印)(署名)

サハリン商工会議所会長
A. A. オリホヴィク

(仮訳)

有限責任会社建設商業会社「グレナダ」の活動に関する情報

有限責任会社建設商業会社「グレナダ」
(OOO SKF「グレナダ」)
693000, ロシア, サハリン州, ユジノサ
ハリンスク市カール・マルクス通り, 20,
オフィス413,
電話: +7(4242)72-40-24,
FAX: +7(4242)72-28-85
E-mail: grenada@bgtelecom.ru

会社のプロフィールは16年間にわたり変化なく、工業及び住宅分野の施設の建設に係る建設・組立の遂行である。

OOO SKF「グレナダ」社は、1990年に組織された。弊社は、発展期にて、強い印象を与える結果に達し、極東地域における大規模な建設会社の1つとなり、安定的に活動する組織として推奨されるに至った。

1997年、弊社は、全ロシア・コンクールの勝者となり、ロシア優良企業100社のランキングに加えられた。

建設における優れた結果の達成、新しい技術の導入により、ロシア連邦建設・住宅・公共サービス局、サハリン州行政府及び州建設局の荣誉賞状を何度も受賞した。

1994年の「クリル」諸島における破壊的な地震後、人的・物的資源の広範な動員が行われ、色丹島においては住居及び社会的建物を移転・建設した。

近年、弊社は、その重要で複雑な施設として、住宅コンプレックス、「サハリン・エナジー」社の外国人専門家用の文化・余暇センター、韓国文化センター、ユジノサハリンスク市のローマ・カトリック教会、「サハリン・エナジー」、「エクソン・ネフチガス・リミテッド」、「TAO コーポレーション」、「タイセイ・コーポレーション」といった外国企業やロシアの大企業の発注によるその他の施設を建設した。

サハリン及び「クリル」の建設市場での作業の16年間で、弊社は、総面積20万平

方メートル以上の住居を含む700以上の様々な施設を建設した。

弊社が、ロシア連邦の島の構成主体であるサハリン州の領域において、自らの活動を実現している事実は注目に値する。

特に州の北部及び「クリル」諸島における発達不十分なインフラ、資材の供給市場からの顕著な遠距離性、特に「クリル」諸島における活動の組織に伴う人的資源及び技術の移動の制限は、弊社の活動の組織に特段の刻印を残している。

しかし、こうした阻害要因の存在にもかかわらず、弊社は、注文主の全ての要求を考慮に入れ、期日通りに質の高い施設を建設している。

弊社指導部は、建設市場の競争が過酷であり、競争相手より半歩進んでいようと高いレベルであるためには、自らの戦術や戦略を熟考することが必要であることを実際に理解している。右での優先分野は以下のとおりである。

- 様々な目的の建物の建設における先端技術の広範な導入、何よりも一致団結した建設。
- 仕上げの作業の実施に伴う最新の資材、工具、設備の使用、内外の工学システム及び設備の設置。
- 「ISO-9001」のシステムの要件を考慮に入れた全ての建設・組立作業の組織。
- 会計及び税の勘定・算出、会計報告書の2007年末までの国際様式の導入。
- 技術職員や労働人員に対する規則正しい教育・訓練。

弊社は、その活動における将来性ある分野の中に、何よりも「クリル」諸島連邦発展プログラムの枠内における、特に近代的で便利・手頃な住居の積極的な建設を見出ししている。

「サハリン・2」プロジェクトのポンプ・コンプレッサー・ステーション(NKS)の2010年までの建設、サハリン州の全地区の中央郵便局の再建に向けた請負業務が委ねられている。日本及び韓国におけるサハリン商工会議所支部の建設に関する交渉が積極的に行われている。

日本、カナダ、米国、トルコ、ニュージーランド、韓国の外国企業との協力は、建設会社の弊社を近代経済市場の条件下で活動させることを可能とした。

社長

(社印) (署名)

ソロキン A. A.